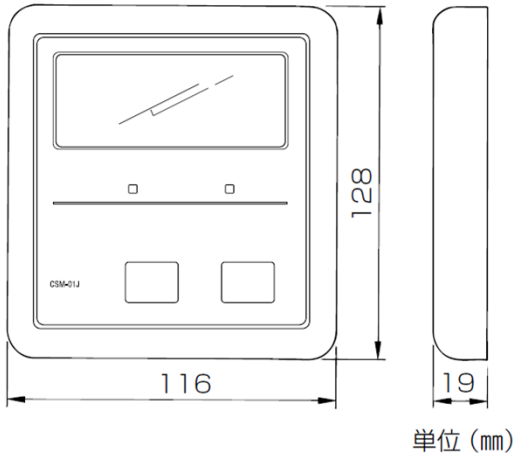


カナディアン・ソーラー・  
ジャパン  
住宅用太陽光発電システム

モニターの施工及び設定

CSM-01J

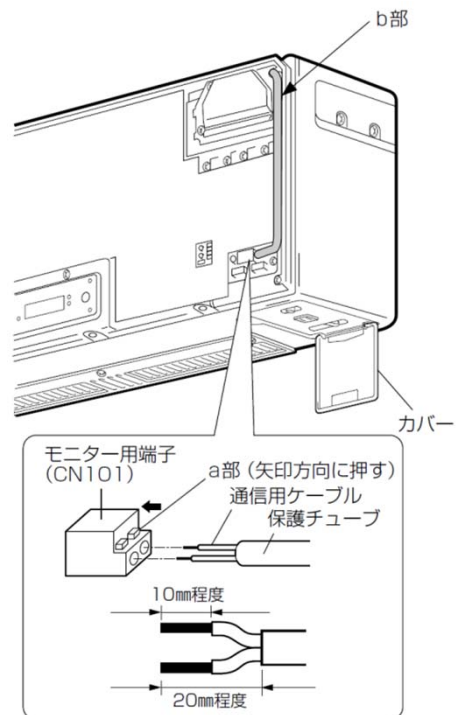
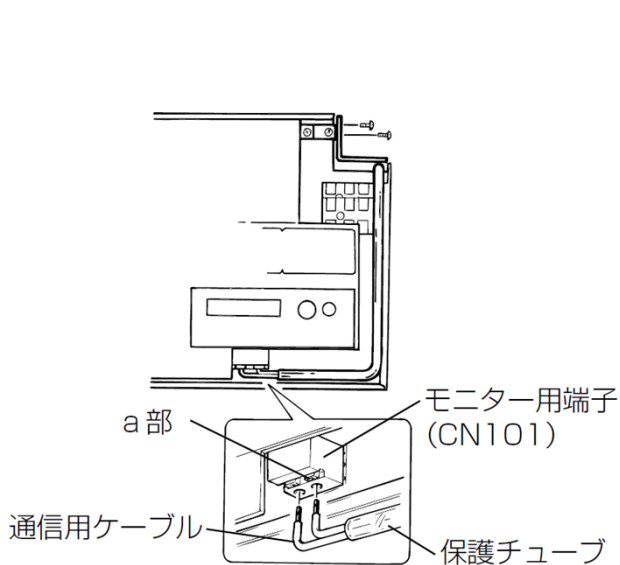
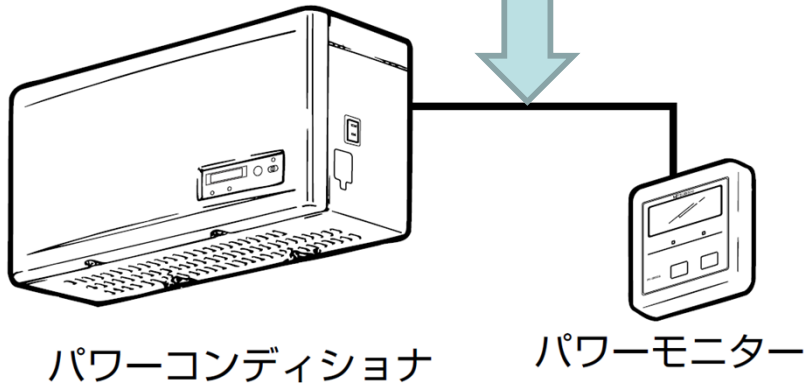
外形寸法図



■適用パワーコンディショナ  
CS-3000J CS-5000J

■通信用コードの準備  
通信用PVC線 2芯  
(φ 0.5 ~ φ 0.8 mmの  
もので50mまで延長  
可能)

付属部品	個数
木ネジ 4.1×16	4
十字穴付きナベネジ(長)	4
十字穴付きナベネジ(短)	2
保護チューブ	1
通信用コード仕切板	1



CS-3000J  
CS-5000J

CS-4000J

## CSCM-SET3J(エコ達)

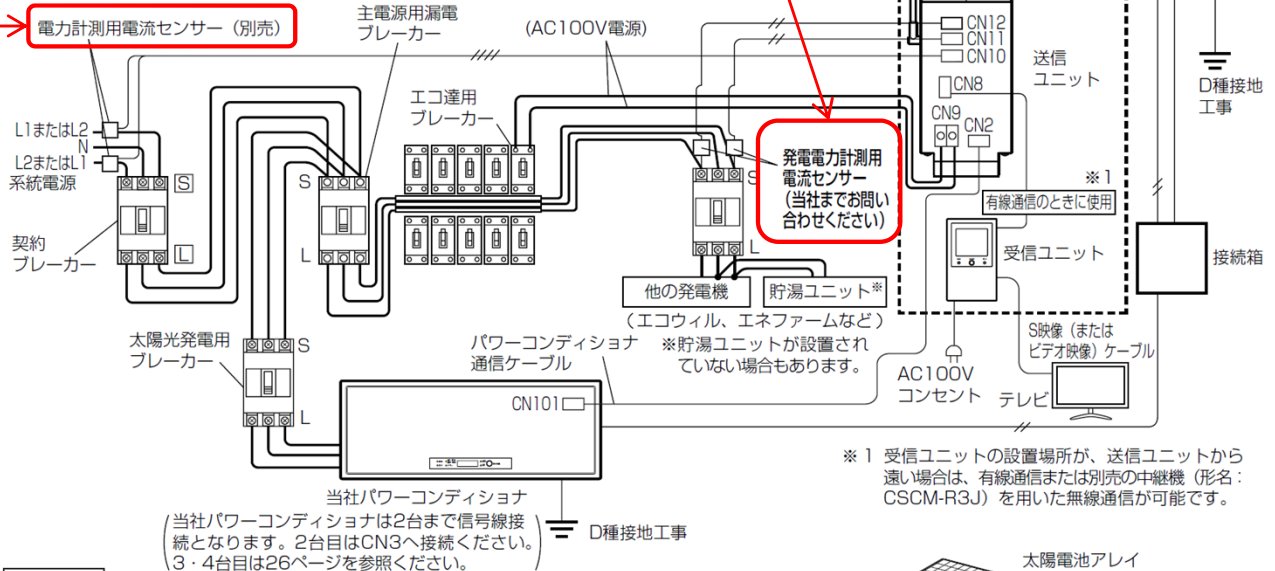
### エコ達と太陽光発電システムの構成例

#### 構成例1

Φ10,16,24からケーブルの外径に合わせて選定します。  
PV-DC10A(10φ)  
PV-DC16A(16φ)  
PV-DC24A(24φ)

- パワーコンディショナを契約ブレーカーのL側に接続した場合。
- 他の発電機(エコウィル、エネファームなど)がある場合。

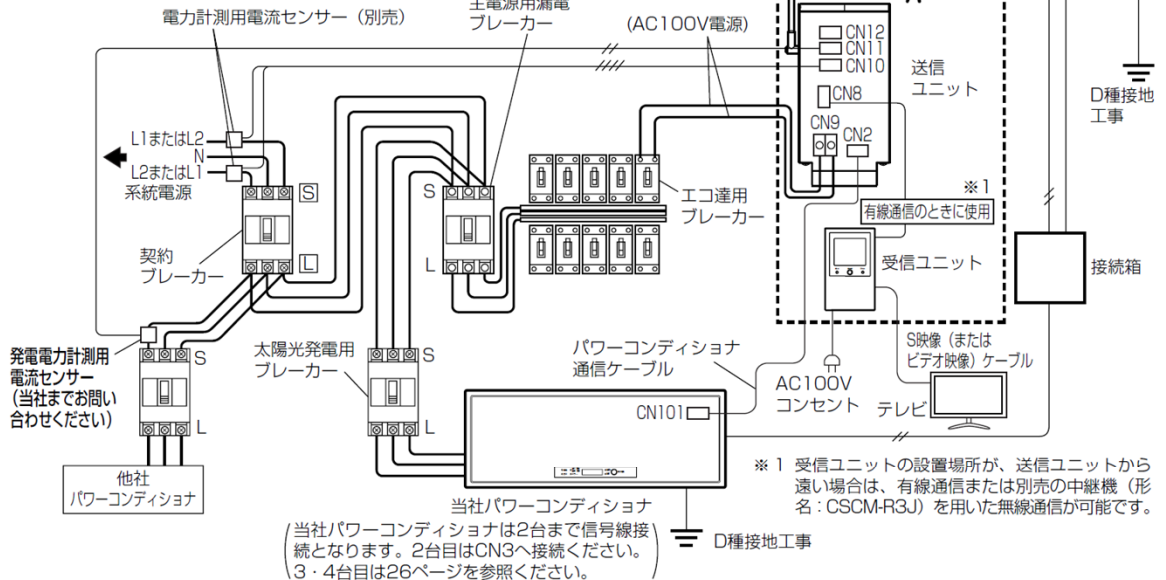
→電力計測用電流センサー(別売)



他社製パソコン  
もしくは3、4台  
目のパソコンに  
使用します。

#### 構成例2

- パワーコンディショナを契約ブレーカーのL側に接続した場合。
- 他社パワーコンディショナがある場合。



#### ご注意

- 電流センサーは、太陽光発電用ブレーカーおよび主電源用漏電ブレーカーよりも必ず系統電源側に取付けてください。
- 送信ユニットは分電盤の中に据付けできません。
- ご家庭内で他の発電機(エコウィル、エネファームなど)をご使用いただいている場合、発電電力計測用電流センサー2個を設置ください。他社パワーコンディショナをご使用いただいている場合、発電電力計測用電流センサー1個を設置ください。発電電力計測用電流センサーを設置しないと消費電力、売買電力、買売電力を正しく計測することができません。他の発電機(エコウィル、エネファームなど)または他社パワーコンディショナが電力消費している状態においては、発電電力および消費電力の計測誤差が大きくなります。
- 発電電力計測用電流センサーについては当社までお問い合わせください。
- 他社パワーコンディショナと他の発電機(エコウィル、エネファームなど)を組み合わせ使用することはできません。

※1 受信ユニットの設置場所が、送信ユニットから遠い場合は、有線通信または別売の中継機(形名:CSCM-R3J)を用いた無線通信が可能です。

※1 受信ユニットの設置場所が、送信ユニットから遠い場合は、有線通信または別売の中継機(形名:CSCM-R3J)を用いた無線通信が可能です。

## CSCM-SET3J(エコ達)

### 全量買取時の設定

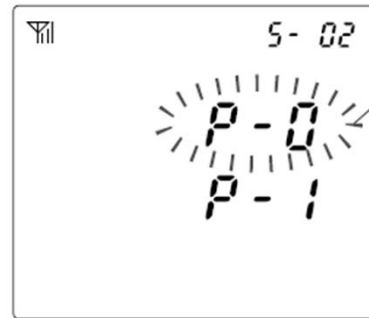
全量買い取りの場合でも設定時には電流センサーを取り付けてください。

場所はパワコンより系統側であればどこでも構いません。

据付工事説明書のステップ2の段階(右図)でP-1を選びます。その後の設定は余剰買取の場合と変わりません。

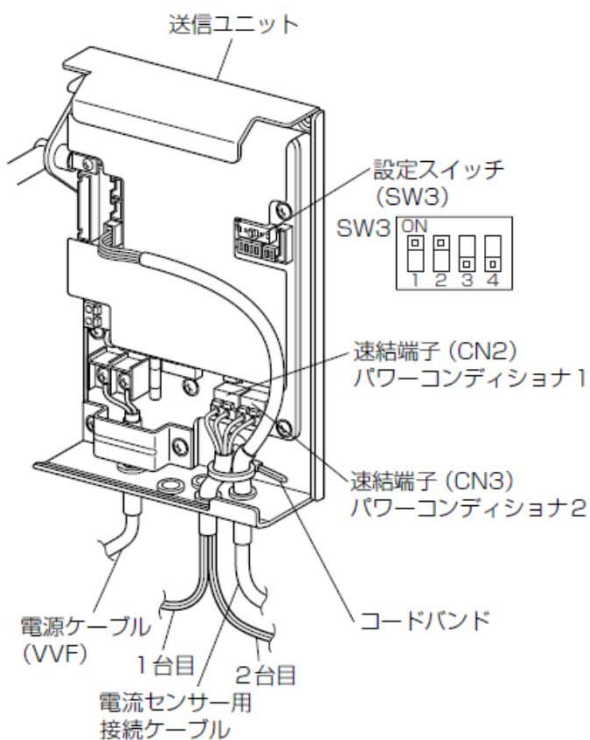
設定終了後、電流センサーを取り外してください。

消費=発電量、売買電の表示は0となります。



選択している表示が点滅する  
P-0 (余剰買取制度)  
を選択

P-1 (全量買取制度)



## 2台目の 当社パワーコンディショナの接続

- 設置してあるパワーコンディショナ全ての直流側開閉器を「切」にする。
- 受信ユニットの電源プラグを抜く。
- 分電盤内のエコ達用ブレーカーを切る。

### 1 送信ユニットのネジ2本をはずし、カバーをはずす

### 2 通信用ケーブルは1台目の通信用コードと同じ保護チューブに通し、速結端子 (CN3) に接続する

- コードバンドを切った場合は必ず新しいコードバンドを用意し、まとめて束ねてください。
- 速結端子にケーブルを接続する時は、速結端子のボタンを押しながらケーブルを差し込んでください。差し込み終わってからボタンを離してください。

### 3 送信ユニットの設定スイッチ (SW3) の2番をONにする

- ご注意** ● 送信ユニットの電源OFFの状態の設定スイッチ操作をしないと操作を受けません。

### 4 付属の新しいコードバンドで電流センサー用ケーブルと束ねて固定し、送信ユニットのカバーをはずしておいたネジ2本で取付ける

- コードバンドを切った場合は必ず新しいコードバンドを用意し、まとめて束ねてください。

- ご注意** ● 接続後は必ずエコ達の設定を行ってください。 **P15**



## CSCM-SET3J(エコ達)

### 外部発電機の接続

- 外部発電機とは他社パワーコンディショナまたは他の発電機（エコウィル、エネファームなど）のことです。
  - 他社パワーコンディショナを接続する場合は、最大2台まで発電電力の計測ができます。1台あたり、別売りの発電電力計測用電流センサー1個を事前に用意してください。
  - 他の発電機（エコウィル、エネファームなど）を接続する場合は、最大1台まで発電電力の計測ができます。1台あたり別売りの発電電力計測用電流センサー1個と接続用ケーブル1本のセットを2セット、事前に用意してください。
  - 設置してあるパワーコンディショナ全ての直流側開閉器を「切」にする。
  - 受信ユニットの電源プラグを抜く。
  - 分電盤内のエコ達用ブレーカーを切る。
- ※発電電力計測用電流センサーにつきましては、当社までお問い合わせください。

#### 1 送信ユニットのネジ2本をはずし、カバーをはずす

#### 2 他社パワーコンディショナの場合

別売りの発電電力計測用電流センサーに付属の接続ケーブルを送信ユニットの使用していないブッシュに保護チューブとともに通し、コネクタCN11に1台目を接続する。2台目は、コネクタCN12に接続する。

#### 他の発電機（エコウィル、エネファームなど）の場合

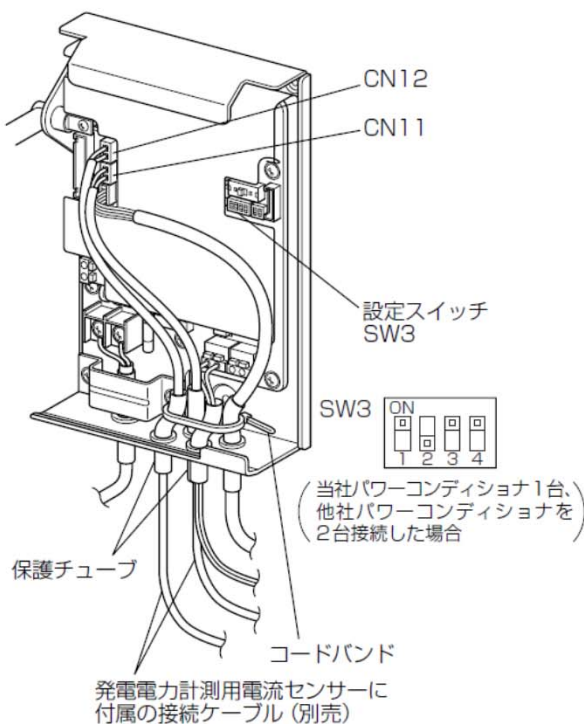
別売りの発電電力計測用電流センサーに付属の接続ケーブル2本を送信ユニットの使用していないブッシュに保護チューブとともにそれぞれ通し、コネクタCN11とコネクタCN12に接続する。

#### 3 送信ユニットの設定スイッチ（SW3）の3番をONにする

#### 4 別売りの発電電力計測用電流センサーに同梱の新しいコードバンドで発電電力計測用電流センサーに付属の接続ケーブルと束ねて固定し、送信ユニットのカバーをはずしたネジ2本で取付ける

- コードバンドを切った場合は必ず新しいコードバンドを用意し、まとめて束ねてください。
- 発電電力計測用電流センサーの取付けは、発電電力計測用電流センサーに付属の据付工事説明書を参照してください。

- で注意**
- 接続後は必ずエコ達の設定を行ってください。 **P15**
  - 他社パワーコンディショナ1台あたり10kWまでの発電機の発電電力を計測できます。
  - エコ達に表示される電力値表示と発電機の表示とは異なることがあります。



SW3の設定

スイッチ1	常にON：パワーコンディショナ1を接続する
スイッチ2	ON：パワーコンディショナ2を接続する OFF：パワーコンディショナ2を接続しない
スイッチ3	ON：CN11に発電電力計測用電流センサー1を接続する OFF：CN11に発電電力計測用電流センサー1を接続しない
スイッチ4	ON：CN12に発電電力計測用電流センサー2を接続する OFF：CN12に発電電力計測用電流センサー2を接続しない

# モニター(KPシリーズ)

## KP-DP1

### 施工方法

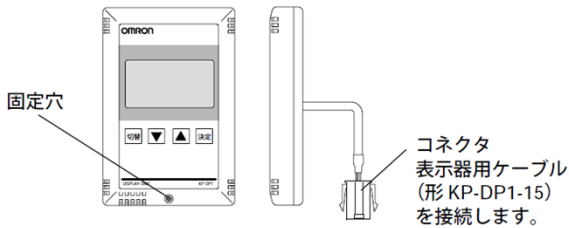
#### ■ 梱包内容

表示器の内容物です。施工前に全てがそろっていることを確認してください。



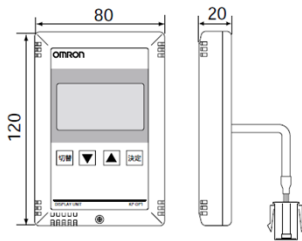
・取扱説明書は大切に保管してください。

#### ■ 各部の名称

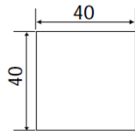


#### ■ 取り付け

##### ●外形寸法 単位(mm)

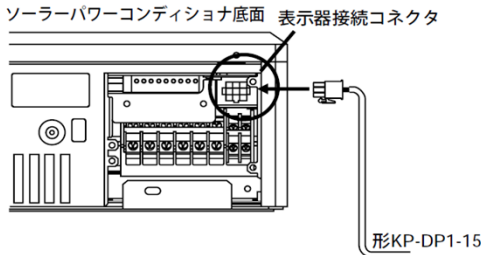


##### ●壁面加工寸法 取り付けの前に、壁面に取り付け用の穴を開けてください。

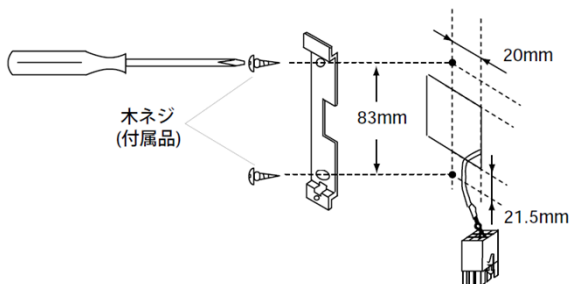


##### ●取り付け方

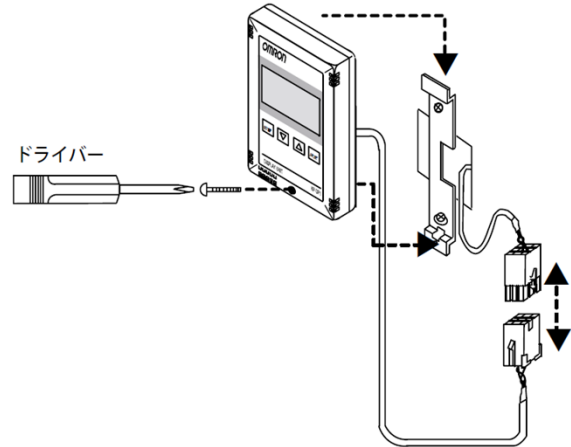
- (1) 接続箱の主開閉器、分電盤のPV用ブレーカを'OFF'にしてください。
- (2) 感電防止のため、ブレーカーOFF後1分間はソーラーパワーコンディショナの端子に触れないでください。
- (3) ソーラーパワーコンディショナの配線端子部カバーのネジを4箇所外してください。
- (4) 表示器用ケーブルを表示器接続コネクタに接続してください。



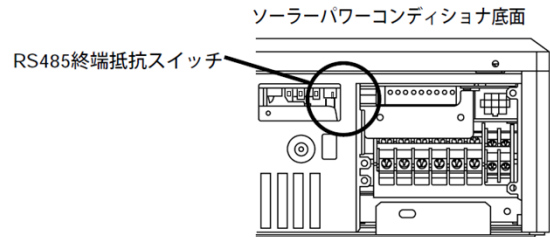
- (5) 表示器用ケーブルを、あらかじめ開けた取り付け穴より取り出します。
- (6) 下図の位置に取り付け金具を付属の木ネジでネジ締めします。  
(取り付け金具の向きに注意してください)



- (7) 表示器用ケーブルを表示器のコネクタに接続してください。
- (8) 表示器を取り付け金具に引っかけてください。
- (9) ドライバーを使用し、付属の固定用ネジで表示器を金具に固定してください。  
ネジは0.3N・mの締め付けトルクで締め付けてください。



- (10) ソーラーパワーコンディショナ本体の終端抵抗スイッチをONにしてください



#### ■ 時刻の設定

初回起動時には時刻の設定が必要です。  
設定方法は右記の”時刻設定とエラー履歴確認”をご覧ください。



# モニター(KPシリーズ)

## KP-CM2-CJ

ここでは、パワーコンディショナ(KP40K)を使用する太陽光発電システムの配線図を示します。

次の配線図は KP40K の配線図です。KP30K、KP40H も同様の配線となります。

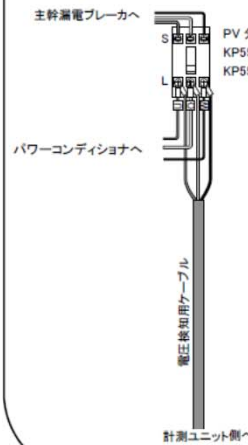
KP55K、KP55F-N の場合は「KP55K、KP55F-N を使用する場合」に従い配線を行ってください。

各部の配線方法については、次項以降を参照してください。

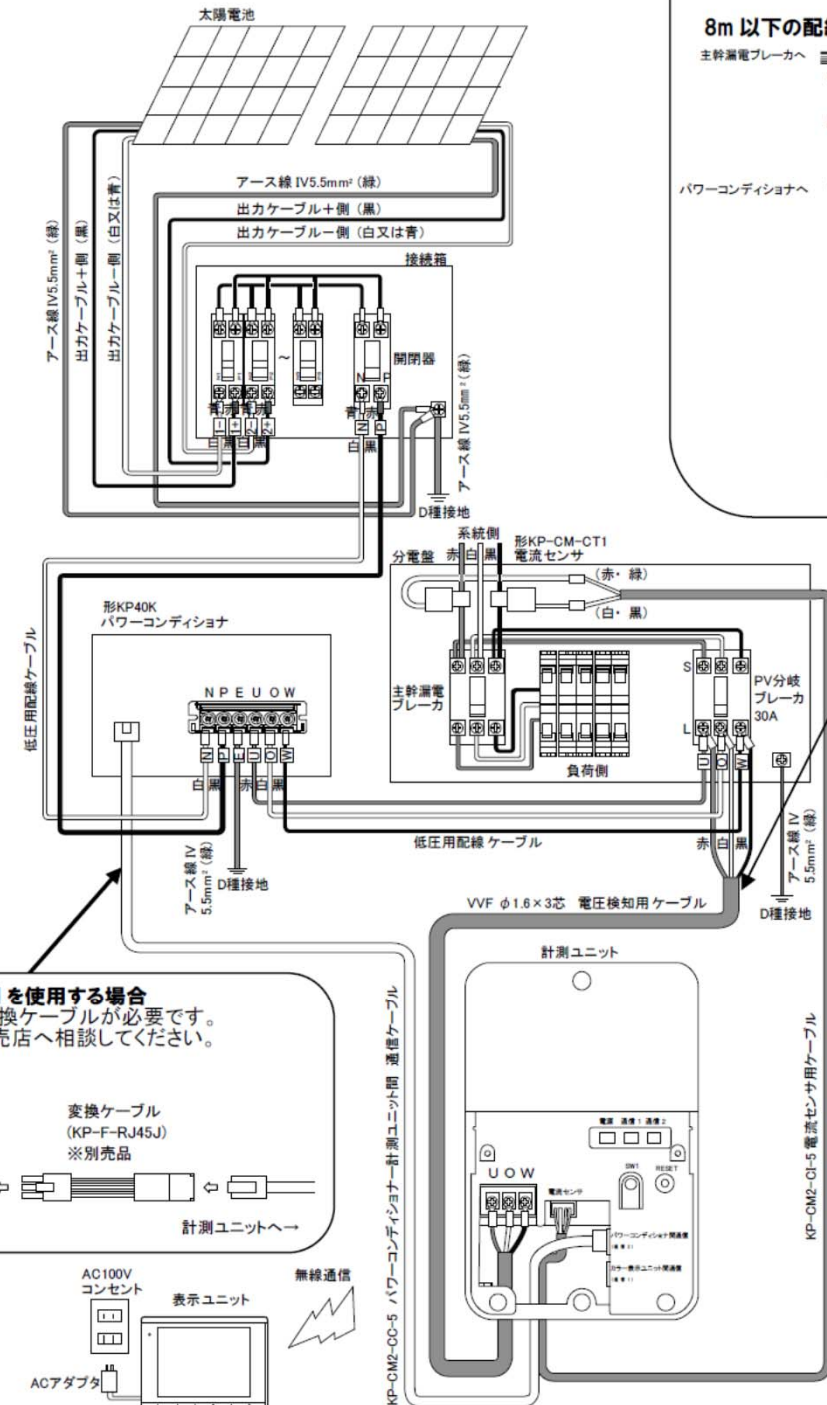
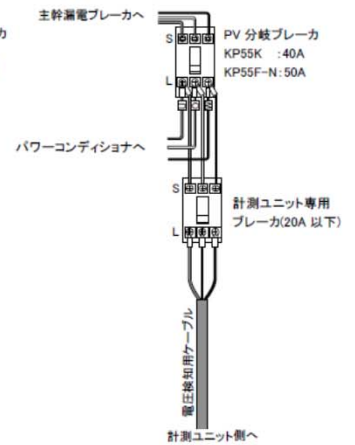
### KP55K、KP55F-N を使用する場合

電圧検知用ケーブルの長さは8m以下になるように施工してください。  
電圧検知用ケーブルの長さが8mを超える場合は、計測ユニット専用のブレーカ(20A以下)を設置してください。

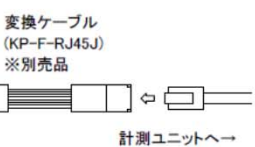
#### 8m以下の配線例



#### 8mを超える場合の配線例



**KP55F-N を使用する場合**  
専用の変換ケーブルが必要です。  
別途、販売店へ相談してください。



付属のケーブルでは長さが足りない場合に次のケーブルを手配してください。  
[オプションケーブル一覧]

通信ケーブル

形式	ケーブル長
KP-CM2-CC-3	3m
KP-CM2-CC-5	5m
KP-CM2-CC-15	15m
KP-CM2-CC-30	30m

電流センサ用ケーブル

形式	ケーブル長
KP-CM2-CI-5	5m
KP-CM2-CI-10	10m
KP-CM2-CI-15	15m
KP-CM2-CI-30	30m

次のケーブルでも使用可能です。  
通信ケーブル: KP-CM-CC-□□  
電流センサ用ケーブル: KP-CM-CI-□□

## KP-CM2-CJ

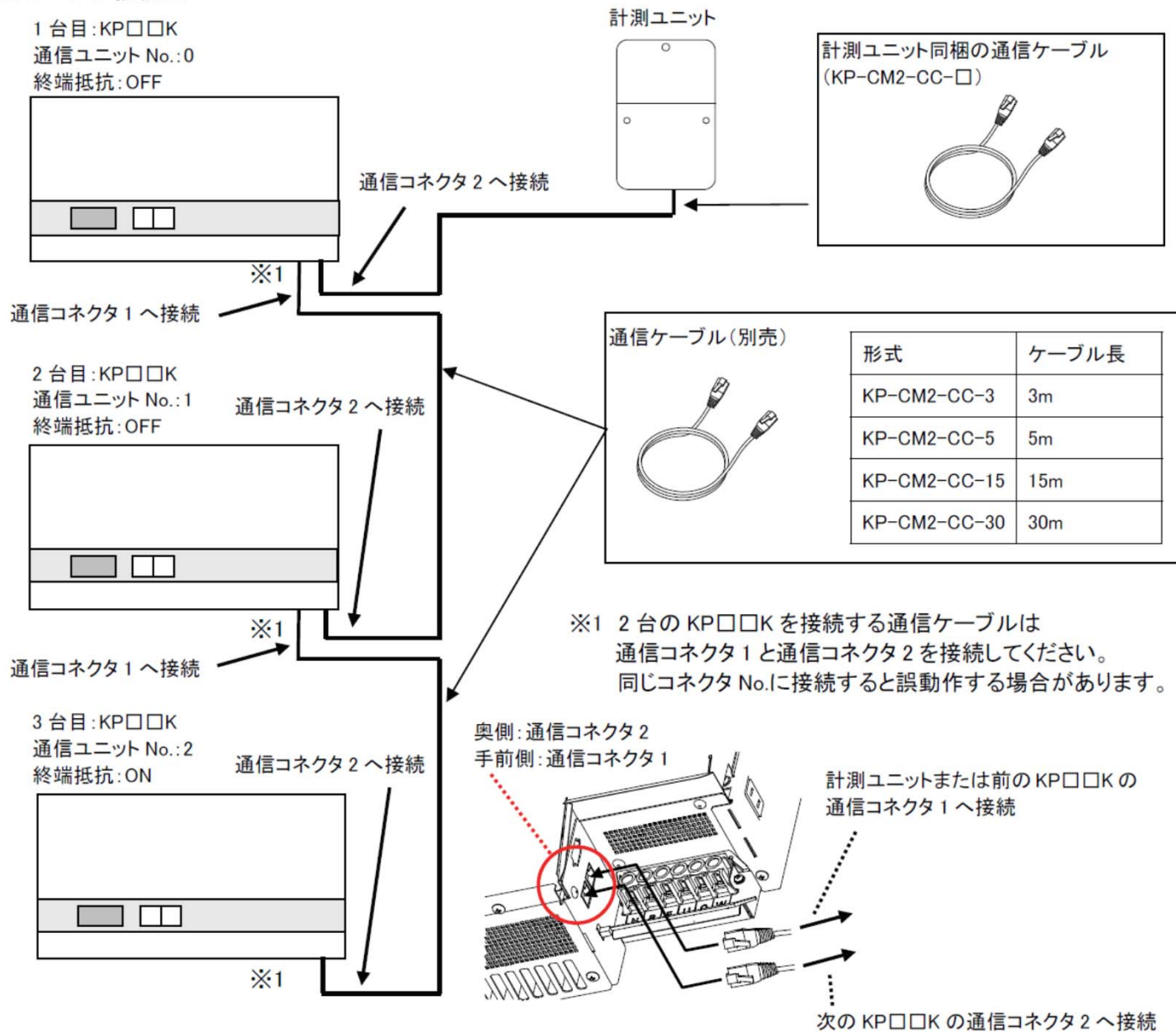
### 2-1. KP□□K を 3 台接続する

この項目では計測ユニットに KP□□K を 3 台接続する場合の接続方法を説明します。

#### ■接続に必要なオプション品

名称	形式	数量
通信ケーブル	KP-CM2-CC-□	3 本(計測ユニット同梱の通信ケーブル含む)

#### ■ケーブル接続図



1: ケーブルの配線方法は「第 2 章 接続する」の「2-10 項 KP□□K への配線」(16 ページ)を参照ください。

2: 通信設定は「第 3 章 設定する」の「3-2 項 KP□□K の通信設定」(21 ページ)を参照ください。



## KP-CM2-CJ

### 2-2. KP40H を 3 台接続する

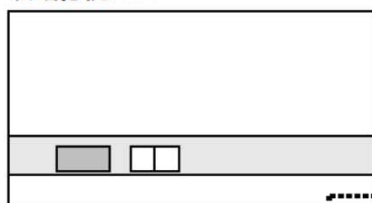
この項では計測ユニットに KP40H を 3 台接続する場合の接続方法を説明します。

#### ■接続に必要なオプション品

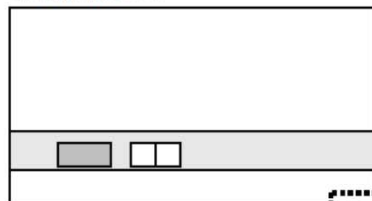
名称	形式	数量
分岐ケーブルセット(KP40H 用)	KP-CM-CCEX	2 本
通信ケーブル	KP-CM2-CC-□	3 本(計測ユニット同梱の通信ケーブル含む)

#### ■ケーブル接続図

1 台目: KP40H  
ユニット No.: 0  
終端抵抗: OFF



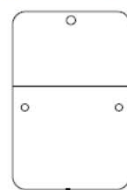
2 台目: KP40H  
通信ユニット No.: 1  
終端抵抗: OFF



3 台目: KP40H  
通信ユニット No.: 2  
終端抵抗: ON



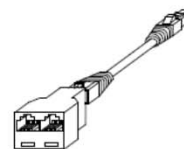
計測ユニット



計測ユニット同梱の通信ケーブル  
(KP-CM2-CC-□)



分岐ケーブルセット  
(KP-CM-CCEX)



通信ケーブル(別売)



形式	ケーブル長
KP-CM2-CC-3	3m
KP-CM2-CC-5	5m
KP-CM2-CC-15	15m
KP-CM2-CC-30	30m

1: ケーブルの配線方法は「第 2 章. 接続する」の「2-11 項 KP40H への配線」(17 ページ)を参照ください。

2: 通信設定は「第 3 章. 設定する」の「3-3 項 KP40H の通信設定」(22 ページ)を参照ください。

## KP-CM2-CJ

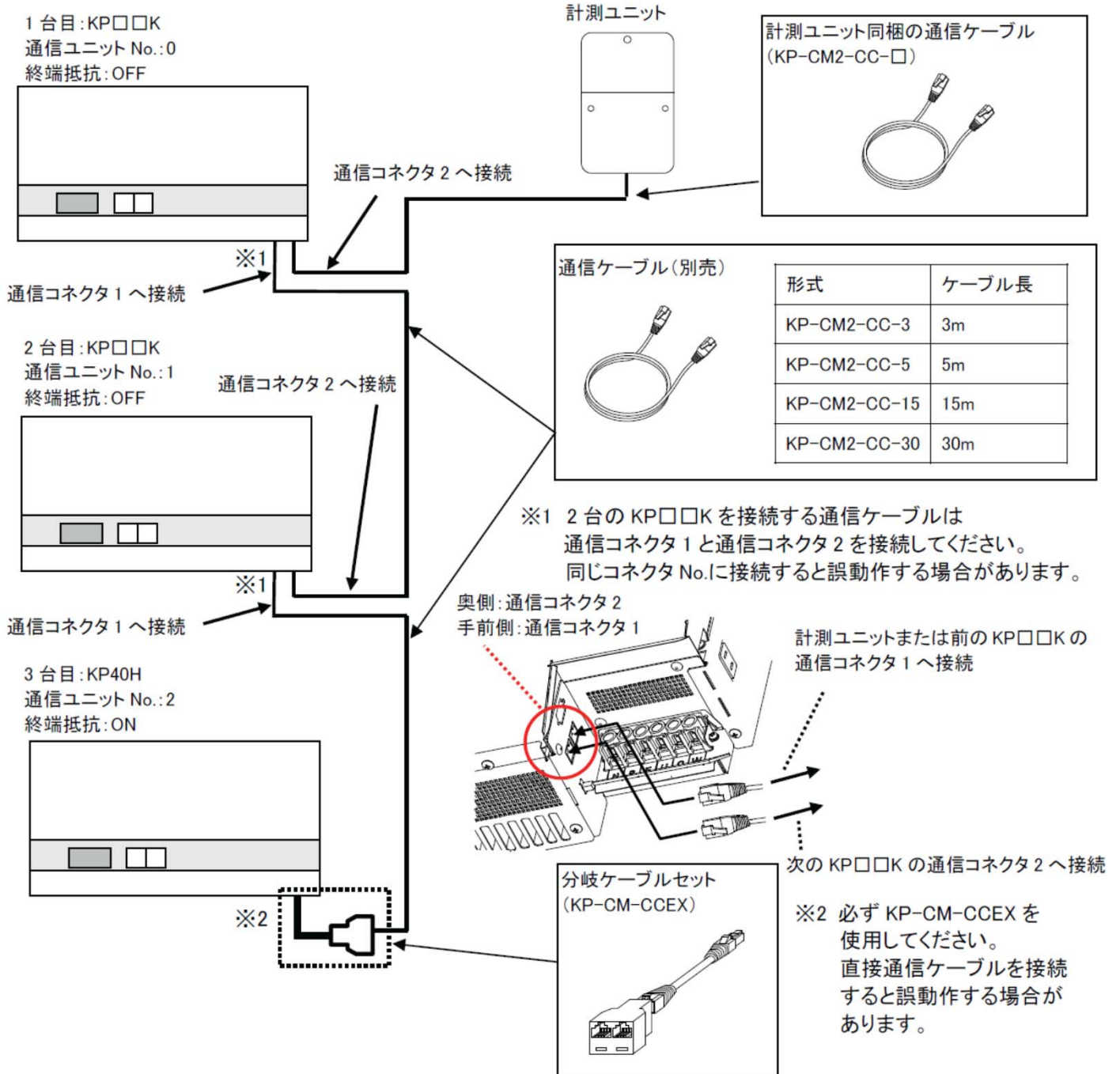
### 2-4. KP□□K を 2 台と KP40H を 1 台接続する

この項目では計測ユニットに KP□□K を 2 台と KP40H を 1 台接続する場合の接続方法を説明します。

#### ■接続に必要なオプション品

名称	形式	数量
分岐ケーブルセット(KP40H 用)	KP-CM-CCEX	1 本
通信ケーブル	KP-CM2-CC-□	3 本(計測ユニット同梱の通信ケーブル含む)

#### ■ケーブル接続図



1: ケーブルの配線方法は「第 2 章 接続する」の「2-10 項 KP□□K への配線」(16 ページ)、「2-11 項 KP40H への配線」(17 ページ)を参照ください。

2: 通信設定は「第 3 章 設定する」の「3-2 項 KP□□K の通信設定」(21 ページ)、「3-3 項 KP40H の通信設定」(22 ページ)を参照ください。

# モニター(KPシリーズ)

## KP-CM2-CJ

パワーコンディショナ、モニター双方で設定が必要になります。  
詳細は通信接続説明書をご覧ください。

### 3-1. パワーコンディショナとカラー表示ユニットの通信設定概要

この項目では各パワーコンディショナとカラー表示ユニットの通信ユニット No.の関係について説明します。

#### ■通信ユニット No.の設定

設置するパワーコンディショナの組み合わせにより次の表を参照し、通信ユニット No.を設定してください。

パワーコンディショナ 接続用途	接続台数	通信ユニット No.(※1)	
		パワーコンディショナ側	カラー表示ユニット側
KP□□K を 3 台接続する。	1 台目(KP□□K)	0	00
	2 台目(KP□□K)	1	01
	3 台目(KP□□K)	2	02
KP40H を 3 台接続する。	1 台目(KP40H)	0	00
	2 台目(KP40H)	1	01
	3 台目(KP40H)	2	02
KP55F-N を 3 台接続する。	1 台目(KP55F-N)	1	00
	2 台目(KP55F-N)	2	01
	3 台目(KP55F-N)	3	02
KP□□K を 2 台、KP40H を 1 台接続する。	1 台目(KP□□K)	0	00
	2 台目(KP□□K)	1	01
	3 台目(KP40H)	2	02
KP□□K を 1 台、KP40H を 2 台接続する。	1 台目(KP□□K)	0	00
	2 台目(KP40H)	1	01
	3 台目(KP40H)	2	02
KP□□K を 2 台、KP55F-N を 1 台接続する。	1 台目(KP□□K)	1	01
	2 台目(KP□□K)	2	02
	3 台目(KP55F-N)	0(※2)	00
KP□□K を 1 台、KP55F-N を 2 台接続する。	1 台目(KP55F-N)	1	00
	2 台目(KP55F-N)	2	01
	3 台目(KP□□K)	2(※3)	02
KP40H を 2 台、KP55F-N を 1 台接続する。	1 台目(KP40H)	1	01
	2 台目(KP40H)	2	02
	3 台目(KP55F-N)	0(※2)	00
KP40H を 1 台、KP55F-N を 2 台接続する。	1 台目(KP55F-N)	1	00
	2 台目(KP55F-N)	2	01
	3 台目(KP40H)	2(※3)	02

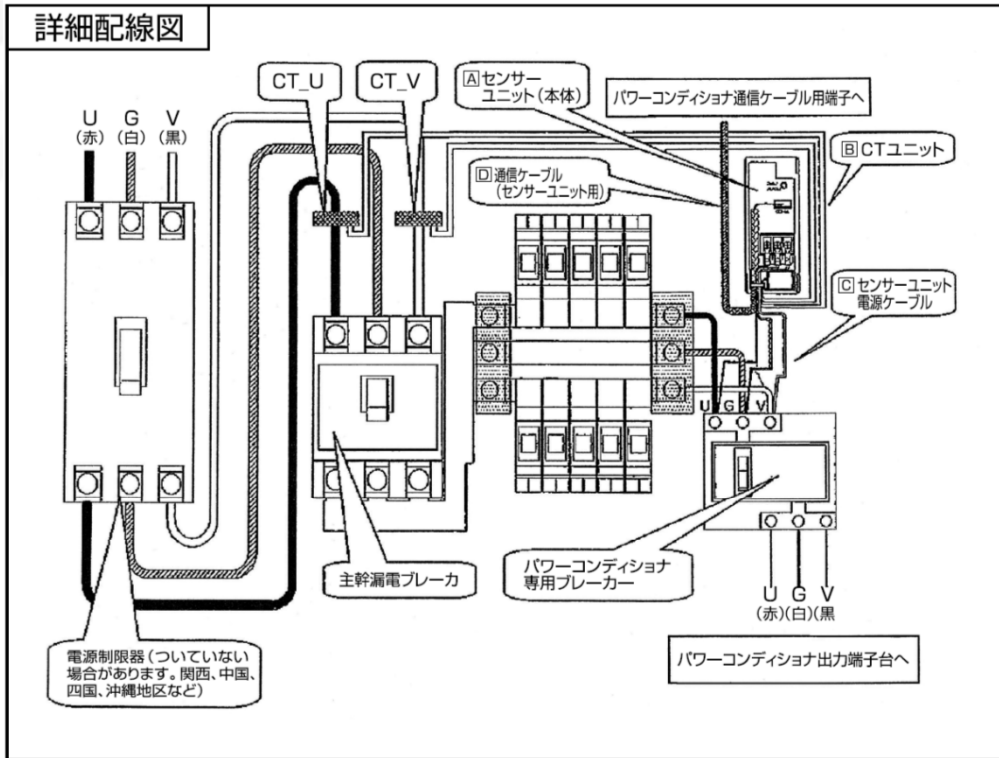
※1 KP-CM-D1 では接続ノード No.と表示されています。

※2 KP55F-N が 1 台の場合は通信ユニット No.は必ず“0”のままでご使用ください。  
変更すると通信できなくなります。

※3 2 台目の KP55F-N と 3 台目の KP□□K または KP40H の通信ユニット No.は同じ No.となるよう設定してください。

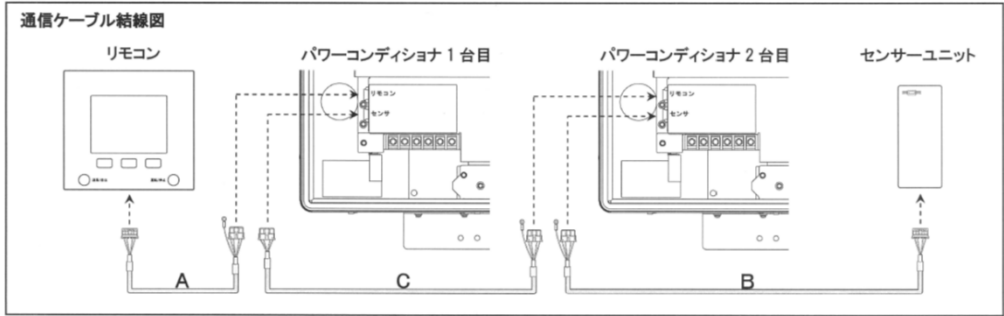
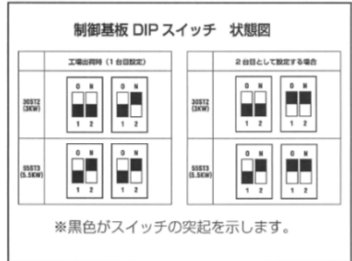


## ZREM-35EN



### パワーコンディショナを2台設置する場合[追補版]

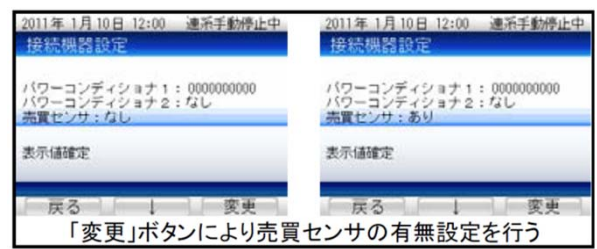
A	パワーコンディショナ - リモコン間通信ケーブル (30m)	DS807-7602A
B	パワーコンディショナ - センサーユニット間通信ケーブル (20m)	QCNWG0020SNZZ
C	パワーコンディショナ - パワーコンディショナ間通信ケーブル (10m)	DS807-7603A



※別途、リモコンのサービスマンモードで2台目のパワコン設定が必要になります。設定に関してはサービスマンモードの説明書をご覧ください。

### 全量買取時の設定

センサーユニットとパワーコンディショナ・センサーユニット間通信ケーブルが必要ありません。サービスマンモードでセンサーユニットなし設定にしてください。

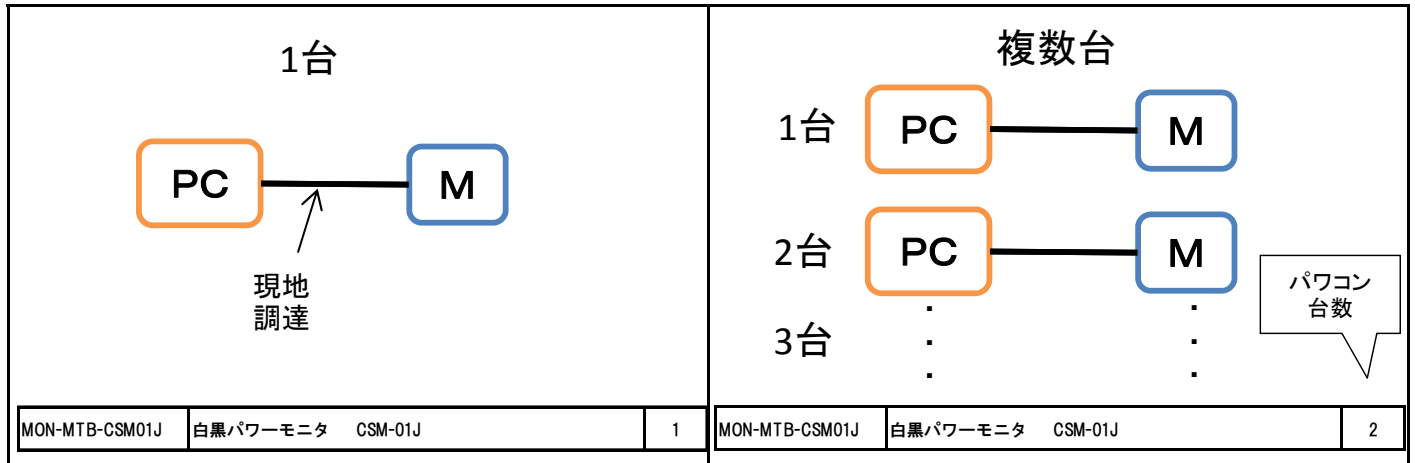


「変更」ボタンにより売買センサの有無設定を行う

# CSシリーズ

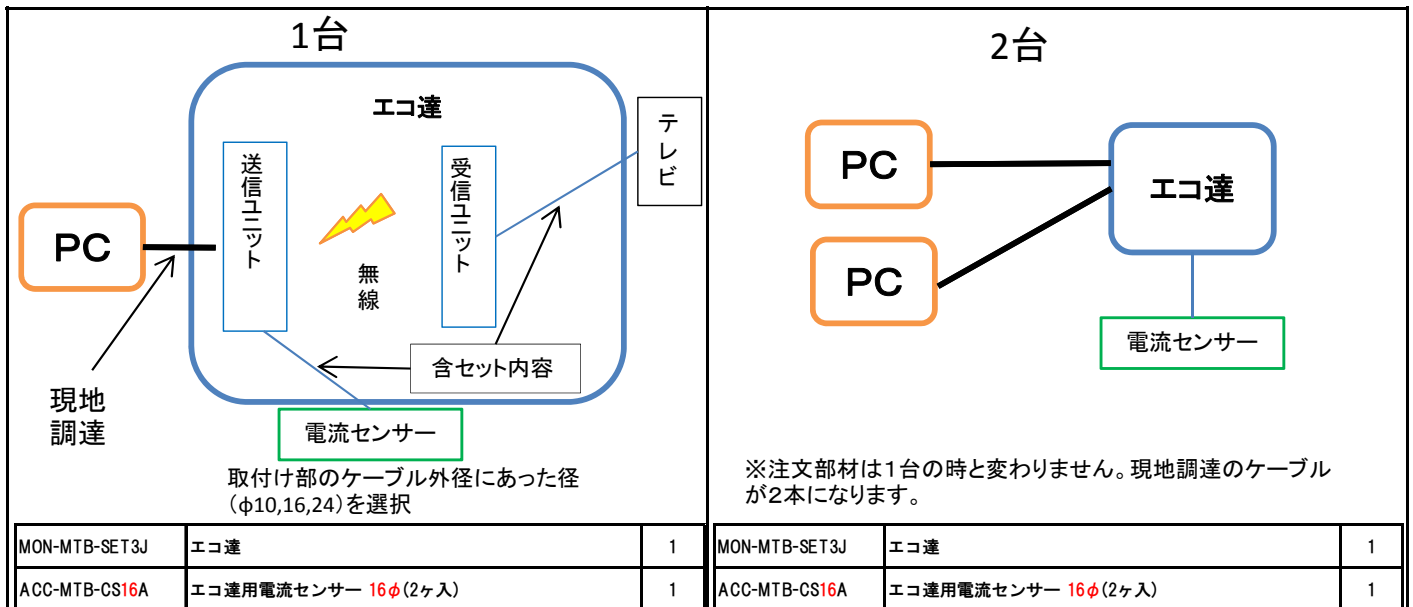
## モノクロモニタ

注！最大台数制限はありませんが、発電量の合算はできません。

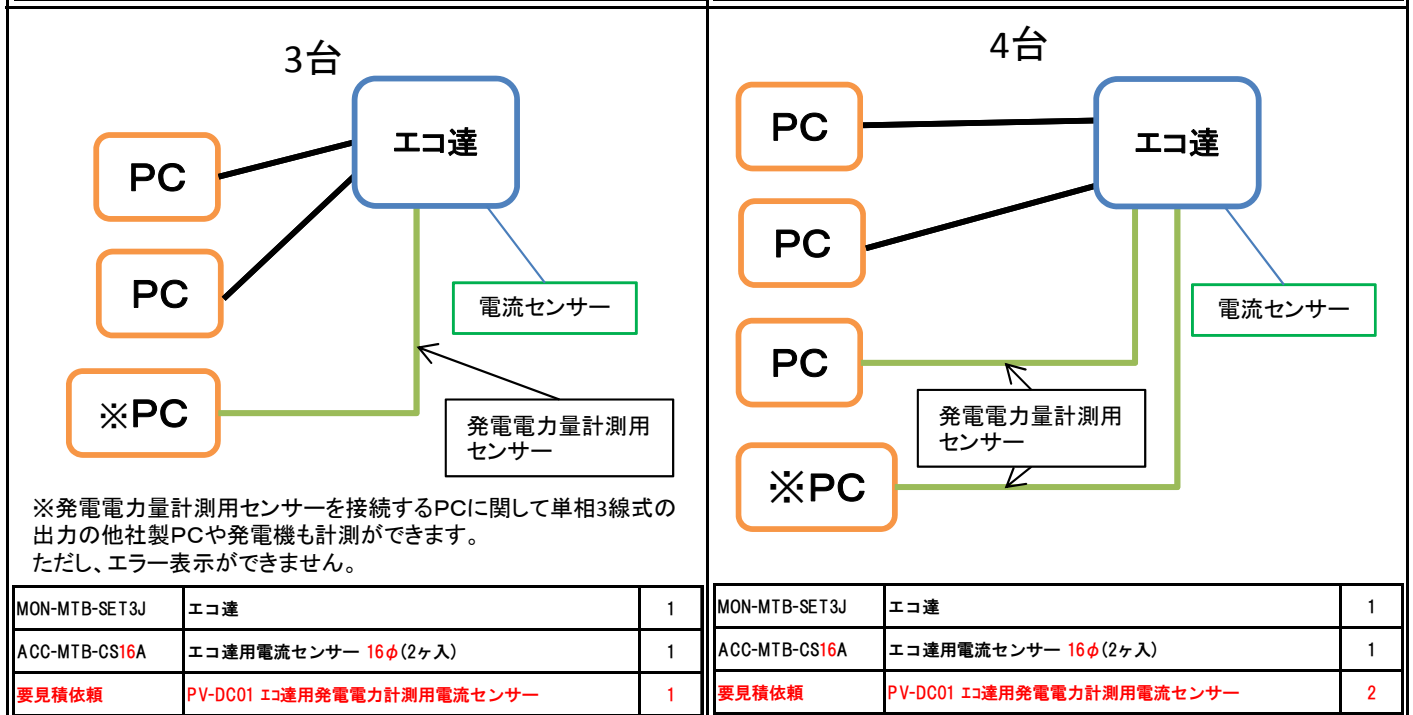


## エコ達

注！最大4台まで。3、4台目はエラーの表示等ができません。



※注文体材は1台の時と変わりません。現地調達のケーブルが2本になります。



# KPシリーズ

## モノクロモニタ

注！最大台数制限はありませんが、発電量の合算はできません。

1台				複数台				
<p>白黒モニタ接続ケーブルセット</p>				<p>パワコン台数</p>				
MON-OMR-KP-DP1	オムロン白黒モニタ KP-DP1	1	MON-OMR-KP-DP1	オムロン白黒モニタ KP-DP1	2	MON-OMR-KP-DP1	オムロン白黒モニタ KP-DP1	2
CAB-OMR-DP115H	白黒モニタ接続ケーブルセット(ケーブル+コネクタ)	1	CAB-OMR-DP115H	白黒モニタ接続ケーブルセット(ケーブル+コネクタ)	2	CAB-OMR-DP115H	白黒モニタ接続ケーブルセット(ケーブル+コネクタ)	2

## カラー表示ユニット

注！最大5台までかつ契約電量20kVAかつ発電設備容量20kw以下までとしてください。

1台				複数台				
<p>セットに含まれます</p>				<p>通信ケーブル</p>				
MON-OMR-KPCMCJ	カラー表示ユニット 同梱ケーブル5mタイプ	1	MON-OMR-KPCMCJ	カラー表示ユニット 同梱ケーブル5mタイプ	1	MON-OMR-KPCMCJ	カラー表示ユニット 同梱ケーブル5mタイプ	1
CAB-OMR-CMCC3M	通信ケーブル 3m (オムロンパワコン複数台用)	4	CAB-OMR-CMCC3M	通信ケーブル 3m (オムロンパワコン複数台用)	4	CAB-OMR-CMCC3M	通信ケーブル 3m (オムロンパワコン複数台用)	4

パワコン台数  
-1本



# Zシリーズ

リモコン(オプションではありません。必ずご注文下さい)

**注！1台のモニタで合算できる発電量は2台まで。**

1台

モニター・パウコン間用  
通信ケーブル

PC ——— M

センサー  
ユニット

センサー・パウコン間用  
通信ケーブル

2台

PC ——— M

PC

センサー  
ユニット

パウコン・パウコン間用  
通信ケーブル

MON-TBC-ZR35EN	リモコン機能付モニター(3.5インチ液晶)	1	MON-TBC-ZR35EN	リモコン機能付モニター(3.5インチ液晶)	1
MON-TBC-OR535	リモコン機能付モニター用センサユニット	1	MON-TBC-OR535	リモコン機能付モニター用センサユニット	1
CAB-TBC-MP30M	モニター・パウコン間用通信ケーブル30m	1	CAB-TBC-MP30M	モニター・パウコン間用通信ケーブル30m	1
CAB-TBC-SP20M	センサー・パウコン間用通信ケーブル20m	1	CAB-TBC-SP20M	センサー・パウコン間用通信ケーブル20m	1
CAB-TBC-PP10M	パウコン・パウコン間用通信ケーブル10m	1	CAB-TBC-PP10M	パウコン・パウコン間用通信ケーブル10m	1

3台

PC ——— M

PC

PC ——— M

4台

PC ——— M

PC

PC ——— M

PC

MON-TBC-ZR35EN	リモコン機能付モニター(3.5インチ液晶)	2	MON-TBC-ZR35EN	リモコン機能付モニター(3.5インチ液晶)	2
CAB-TBC-MP30M	モニター・パウコン間用通信ケーブル30m	2	CAB-TBC-MP30M	モニター・パウコン間用通信ケーブル30m	2
CAB-TBC-PP10M	パウコン・パウコン間用通信ケーブル10m	1	CAB-TBC-PP10M	パウコン・パウコン間用通信ケーブル10m	2

3台以上は売買電、消費電力が計測できなくなるため、センサーユニットとセンサー・パウコン間用通信ケーブルは不要。

3台以上は売買電、消費電力が計測できなくなるため、センサーユニットとセンサー・パウコン間用通信ケーブルは不要。